

地方公会計検定試験範囲 3級

平成 27年 4 月 1 日制定

区分	科目名	項目名
簿記原理	1 会計の目的	1-1 会計の目的
		1-1-1 公会計の目的
		1-1-2 企業会計の目的
	2 公会計と企業会計	2-1 公会計と企業会計
		2-1-1 発生主義と複式簿記
		2-2 企業会計における財務諸表
		2-2-1 財務諸表
		2-2-2 損益計算書
		2-2-3 貸借対照表
	3 取引・仕訳・勘定・精算表	3-1 取引
		3-1-1 取引
		3-1-2 取引の記録方法
		3-2 仕訳
		3-2-1 仕訳
		3-2-2 仕訳の法則
		3-3 勘定口座への記入方法
		3-3-1 勘定口座への記入方法
		3-4 試算表
		3-4-1 試算表
		3-4-2 試算表の種類と様式
	4 諸取引の記帳方法	4-1 現金の記帳方法
		4-1-1 現金の記帳方法
		4-1-2 預金
		4-2 債権および債務の記帳方法
		4-2-1 債権および債務
		4-2-2 貸付金勘定および借入金勘定の記帳方法
		4-2-3 未収金勘定および未払金勘定の記帳方法
		4-2-4 立替金勘定および預り金勘定の記帳方法
		4-2-5 仮払金勘定および仮受金勘定の記帳方法
		4-3 建設仮勘定
		4-3-1 建設仮勘定
		4-4 有価証券
		4-4-1 売買目的有価証券
		4-4-2 売買目的有価証券の記帳方法

区分	科目名	項目名
		4-5 社債
		4-5-1 意義
		4-5-2 発行時の会計処理
		4-5-3 社債利息の会計処理
		4-5-4 表示
		4-6 純資産の増減の記帳方法
		4-6-1 純資産の増加原因(収益諸勘定)の記帳方法
		4-6-2 純資産の減少原因(費用諸勘定)の記帳方法
5 決算		5-1 決算
		5-1-1 決算
		5-2 決算整理
		5-2-1 決算整理
		5-2-2 棚卸表の作成
		5-3 英米式決算法
		5-3-1 英米式決算法
		5-4 現金過不足勘定および現金勘定の決算整理
		5-4-1 現金過不足
		5-4-2 現金過不足勘定の決算整理仕訳
		5-4-3 現金勘定の決算整理仕訳
		5-5 引当金
		5-5-1 貸倒れ
		5-5-2 貸倒れの見積額と貸倒引当金
		5-5-3 貸倒れが実際に発生したときの記帳方法
		5-5-4 前期末に設定した貸倒引当金の残高がある場合の 決算整理仕訳
		5-5-5 退職給付引当金
		5-5-6 賞与引当金
		5-6 有形固定資産諸勘定の決算整理
		5-6-1 有形固定資産
		5-6-2 修繕費と改造費
		5-6-3 減価償却
		5-6-4 減価償却費の計算方法
		5-6-5 減価償却の記帳方法
		5-6-6 有形固定資産を売却したときの記帳方法
		5-7 費用諸勘定および収益諸勘定の記帳方法
		5-7-1 費用および収益の繰延べ・見越し
		5-7-2 収益の繰延べ
		5-7-3 費用の見越し
		5-7-4 消耗品費勘定と消耗品勘定の記帳方法

区分	科目名	項目名	
地方公会計	1 地方公会計とは	1-1 地方公会計の目的と意義	
		1-1-1 地方公会計に関するこれまでの取組み	
		1-1-2 地方公会計整備の意義	
		1-1-3 新地方公会計	
		1-1-4 複式簿記の導入	
			1-1-5 財務書類の活用の充実等
			1-2 財務書類
			1-2-1 財務書類の作成目的
			1-2-2 財務書類の質的特性
			1-2-3 財務書類の体系とその構成要素
		2 地方公会計財務書類作成手順の基本	2-1 財務書類(一般会計)の作成手順
			2-1-1 帳簿等
			2-1-2 作成単位
			2-1-3 作成基準日
			2-1-4 表示単位
			2-1-5 作成手順
			2-2 仕訳例
			2-2-1 歳入科目(特定)
			2-2-2 歳出科目(特定)
			2-2-3 歳入科目(仕訳複数例)
			2-2-4 歳出科目(仕訳複数例)
			2-2-5 非資金仕訳(整理仕訳)
			2-2-6 未収・未払の仕訳
		2-2-7 歳入歳出データに含まれない非資金仕訳	
		2-2-8 勘定科目表	
		3 固定資産台帳の実例と整備	3-1 固定資産台帳の整備目的
			3-1-1 固定資産台帳の意義
			3-1-2 固定資産台帳の整備目的
			3-2 固定資産台帳の記帳内容
			3-2-1 固定資産台帳の記載項目
			3-3 固定資産台帳の記載対象範囲
			3-3-1 総 則
			3-3-2 建設仮勘定
	3-3-3 リース資産		
	3-3-4 PFI等		
	3-4 固定資産台帳の記載単位		
	3-4-1 総 則		
	3-4-2 付随費用		
	3-4-3 資本的支出と修繕費の区分		

区分	科目名	項目名
		3-5 減価償却・耐用年数等
		3-6 資産の評価基準・評価方法
		3-6-1 総 則
		3-6-2 有形固定資産
		3-6-3 無形固定資産
		3-6-4 棚卸資産
		3-7 開始時における取得原価が不明な有形固定資産の 具体的評価方法
		3-7-1 総 則
		3-7-2 土 地
		3-7-3 立木竹
		3-7-4 建 物
		3-7-5 工作物
		3-7-6 船舶、浮標等(浮標・浮棧橋・浮ドック)、航空機、物品
		3-8 定資産台帳の整備手順
		3-8-1 総 則
		3-8-2 庁内の体制整備
		3-8-3 固定資産台帳の整備手順の実務
		3-8-4 資産の棚卸
	4 地方公会計財務書類の様式と関係	4-1 財務書類の相互関係
		4-2 帳簿記入の流れ
		4-3 今後の課題と対応
		4-3-1 わかりやすい表示
		4-3-2 人材の育成・教育

※上掲の出題項目について具体的な内容の確認は、次の書籍にて行ってください。

「地方公会計検定教科書 3級」 著者 一般社団法人 地方公会計研究センター  
 学校法人 大原学園大原簿記学校  
 発行 大原出版株式会社  
 ISBN 978-4-86486-256-1 C1034

<参考文献>

- 今後の新地方公会計の推進に関する研究報告書(平成26年4月総務省公表)  
 統一的な基準による地方公会計マニュアル(平成27年1月23日総務省公表)
- ・財務書類作成にあたっての基礎知識
  - ・財務書類作成要領
  - ・資産評価及び固定資産台帳整備の手引き